

令和2年度

歯・口の健康に関する

# 図画・ポスターコンクール

主催：一般社団法人日本学校歯科医会

後援：文部科学省・公益財団法人日本学校保健会・公益社団法人日本歯科医師会／協賛：ライオン株式会社

「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は、次の世代を担う子どもたちの作品を対象として、口腔保健に関する理解と認識を高めることを目的に実施しているもので、日本学校歯科医会が主催するようになって今年で44年目を迎えます。日本学校歯科医会は全国の53加盟団体をとおり、幼稚園（幼稚園型および幼保連携型認定こども園を含む）、小学校（低学年・高学年）、中学校、中等教育学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の幼児・児童生徒による作品を募集し、2020年12月22日に行われた審査委員会では、応募総数147点の中から最も優れている作品として各部門より1点計6点を最優秀賞、12点を優秀賞に選出しました。129点は佳作として表彰されます。また、最優秀賞のうち、埼玉県さいたま市立常盤小学校4年 村山遼太郎さん（小学校高学年の部）、新潟県佐渡市立佐和田中学校3年 中村心香さん（中学校の部）の作品には文部科学大臣賞が付与されます。

審査委員長の齋藤芽生先生による総評・画評とともに、最優秀賞および優秀賞に輝いた作品をご覧ください。

## 審査総評

新型コロナ肺炎流行下、今年はいがいでだけでなく歯磨きまで含め、口腔の健康に対して一段と意識が高まった年かもしれない。応募作品の中にもコロナ予防を思わせるモチーフが見られた。応募作品全体の傾向としては、例えば「歯磨きをする場面」などをきっちり描き込む絵画的な作品よりも、デザイン的な作品が増えてきたようにも感じられた。特に小学校中高学年以上では、キャッチフレーズのインパクトまで配慮している作品は面白く見えた。

幼稚園作品は以前に比べ、色彩が穏やかで繊細な作品が見受けられる。何を描くか、よりもマチエール（絵肌）の質感に特徴がある。貼り絵やスタンプなどの効果を多用して遊びながら絵画を製作することを身近な大人が指導しているのだろう。また特別支援学校の応募作品の表現の幅の広さは年々楽しませてもらっている。画材を自由な持ち方で持って、伸びやかに線を引き色を重ねている。

（審査委員長 齋藤芽生）

文部科学大臣賞  
最優秀賞



### 小学校高学年の部

埼玉県 さいたま市立常盤小学校 4年  
村山 遼太郎 さん

【画評】

小学校高学年はどれか一つが突出している印象はないものの総じてレベルは高かった。その中でこの作品は、明快なデザイン性と爽やかな色彩感覚が審査員の人気を集めた。実際描けばわかるが、点描の技法は時間がかかる。色のニュアンス、立体感と陰影などある程度理解しながら進めないと散漫な絵になりがちだ。しかしこの作品では、形のきわのところ細かく濃い点を集めることで形態を引き締め、全体像をシャープに演出している。



### 中学校の部

新潟県 佐渡市立佐和田中学校 3年  
中村 心香 さん

【画評】

一見なんのポスターだろうかと思うが、よく見ると、歯と歯の間を狙い撃てとのこと。爽やかで柔らかなイメージの作品が選ばれることが多い中、今年は審査員の評がこのハードなメッセージに集まったことが面白い。確かにこのポスターを見ると、歯磨きの時に忘れずに、歯と歯の間まで磨くことができそう。歯の丁寧な描写の周りに、三原色がバランスよく配置されアクセントが効いている。遠くから見ても、目立つデザインだ。

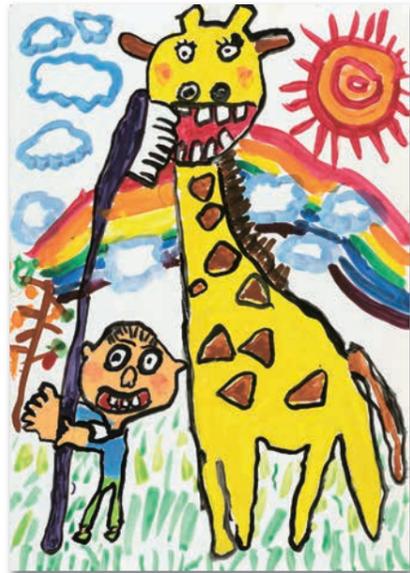
最優秀賞



幼稚園の部

佐賀県 あかさかランビニー園 5歳  
川原 響さん

【画評】  
審査委員長は個人的にとっても魅了された作品だった。柔らかなパステルトーンの空間に、三原色の手形はんこがアクセントとして効いている。肩の力が入っていない、たっぴりとした水彩絵具の使い方が素晴らしい。肌の色も服の色も丁寧に選択されているし、二人の表情の優しさと味わいも秀逸である。



小学校低学年の部

福島県 会津若松市立城南小学校 1年  
君 光平さん

【画評】  
思い切りの良さと繊細さ、隙のないバランス感覚とのんびりした軽やかさなど、相反する要素が同居している。構図がパッチリと決まっているのだ。キリンが画面いっぱいに無理なく入り、巨大な歯ブラシと三角形のバランスを保っている。背後に虹が横切って、雲にもリズム感が。キリンも少年も、軽快な良い表情をしている。



特別支援学校の部

愛媛県 愛南町立一本松小学校特別支援学級 1年  
徳田 琴さん

【画評】  
審査員それぞれに推す作品は違ったが、最終的にこの勢いのいいタッチの作品が選ばれた。目鼻を思い切り上に小さく、口の中は大胆にまた詳細に。バランスが面白い。またよく見ると、顔の顎下や首の陰影の表現など、とてもうまい。柔らかい薄黄色のバックに青い服が爽やかに映えている。ずっと見ていても飽きない絵だ。

優秀賞

幼稚園の部



静岡県  
掛川市立さかがわ幼稚園  
5歳  
石毛 咲希さん



滋賀県  
滋賀短期大学附属幼稚園  
5歳  
森 麻実さん

小学校低学年の部



徳島県  
三好市立東祖谷小学校  
2年  
森 絵梨さん



新潟県  
新発田市立御免町小学校  
1年  
大崎 ふみさん

小学校高学年の部



東京都  
江東区立第二亀戸小学校  
6年  
太田 直良さん



京都府  
南丹市立八木西小学校  
4年  
人見 千尋さん

中学校の部



鹿児島県  
鹿児島市立紫原中学校  
3年  
牧迫 美紗さん



福島県  
須賀川市立西袋中学校  
2年  
半澤 咲弥さん

高等学校の部



東京都  
東京都立工芸高等学校 定時制  
3年  
岩坪 ひかりさん



福岡県  
福岡県立輝翔館中等教育学校  
5年  
岩津 歩佳さん

特別支援学校の部



東京都  
大田区立大森第八中学校  
特別支援学級 3年  
瀬谷 智紀さん



佐賀県  
佐賀県立盲学校  
小学部 5年  
山田 凌虎さん

高等学校の部

愛媛県 愛媛県立松山北高等学校 2年  
大木 日菜子さん

【画評】  
それぞれデザイン性を重視し工夫を凝らした作品の中で、特に知的で繊細なセンスが光ったのがこの作品だった。日々の習慣の積み重ねをブロックの歯で表している。思い切って背後の人間の顔半分を隠し前面にブロックを持ってきたところが面白い。瞳とテーブルの茶色、背景に少し覗くブルー、シンプルな色彩構成も美しい。

【図画・ポスターコンクール審査委員会】

委員長 齋藤 芽生 東京藝術大学美術学部絵画科 准教授  
副委員長 横嶋 剛 文部科学省 健康教育調査官  
委員 小林 幸恵 全国養護教諭連絡協議会 副会長  
委員 山森 喜子 一般社団法人富山県歯科医師会 理事

委員 齋藤 秀子 一般社団法人日本学校歯科医会 副会長  
委員 柘植 紳平 一般社団法人日本学校歯科医会 副会長  
委員 阿左見葉子 一般社団法人日本学校歯科医会 理事

【審査委員長プロフィール】

齋藤芽生 Meo Saito  
東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程油画専攻修了。国内外を問わず数多くの展覧会へ出品のほか、絵本『吸血鬼のおはなし』『カステラ、カステラ!』(共に福音館書店)の挿絵を担当し、2011年に画集『徒花図鑑』(芸術新聞社)を出版。